

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8289
担当部課名	生涯学習部	青少年	課	
事務事業名	青少年問題協議会経費		事業コード	14210

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第2節	青少年の健全育成	~63
施策名	第1施策	青少年活動の促進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

地方青少年問題協議会法、付属機関の設置に関する条例・別表(第2条関係)、相模原市青少年問題協議会規則  
相模原市青少年問題協議会運営規程、相模原市青少年問題協議会幹事会設置要綱

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な事項を調査審議するとともに、その実施に関し必要な関係機関相互の連絡調整を図る。		青少年関係行政機関	
		対象数	20人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年問題協議会の開催 2回 (委員報酬 295千円)</li> <li>青少年問題協議会幹事会の開催 2回</li> </ul>		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	協議会の開催率	協議会委員の出席率
指標式	開催回数 / 開催予定回数 × 100	出席者数 / 委員数 × 100
指標設定の意図	開催予定2回の開催成果を表す	協議会委員の出席率により成果を表す

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100.0	100.0	a 100.0	b 100.0	100.0
指標	76.1	77.5	c 70.0	d 100.0	100.0
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	411	320	300	409
	人員・時間数	300H	300H	300H	300H
	人件費	1,254	1,254	1,254	1,254
	その他経費	0	0	0	0
	合計	1,665	1,574	1,554	1,663
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 85.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{70.0}{100.0} \times 100 = 70.0\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	--	----------------------------

理由： 関係行政機関の代表者のため、日程調整が難しい。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 青少年問題は、時代とともに変化しているため、当協議会は必要である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 所管課としての経費は、職員の人件費と協議会委員への報酬だけであり、妥当といえる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 法により市町村の設置機関とされているため、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由： 青少年に関する問題は、社会全体の大きな課題であり、行政の取り組みだけで解決できない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 青少年の総合的施策実施に関し、関係行政機関相互の連絡調整を図るため重要である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 関係行政機関相互の意見交換のため達成率を高める必要がある。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 協議会経費をこれ以上圧縮することは困難。

7 総合評価

評価 AA ▼	他自治体の類似事業との比較	法令による設置機関のため各市とも同様である。
		説明 青少年問題は、時代とともに変化するため、時代に即した協議会とする。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
<input type="checkbox"/> 見直し		
<input type="checkbox"/> 廃止		
<input type="checkbox"/> 完了		

8 二次評価における変更点